堀田丸正株式会社
Marusho hotta co.,Ltd.

2025年3月期
中間期決算説明資料

2024年11月14日

©2024 MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

AGENDA

1. 2025年3月期中間期総括

・2025年3月期サマリー
・2025年3月期中間期振り返り

2. 2025年3月期中間期決算概要

3. 成長戦略

2025年3月期中間期サマリー

連結売上高は、ファッション事業が好調に推移するもマテリアル事業の国内、中国の受注減及び事業売却に伴う売上減もあり、前年同期比大幅減。円安による原材料価格の高騰などの影響を受け、売上総利益は減少、きもの百貨店売場単独化、ファッションSHOP事業での売場拡大及び新規PB商品の先行投資により販売経費の増加で営業損失が悪化。
前年事業売却による特別利益を計上したことにより当期損失も悪化。

- 連結売上高　1,530百万円（前年同期比　▲377百万円　80.2%）
- 経費総額　690百万円（前年同期比　+41百万円　107.6%）
- 営業損失　186百万円（前年同期比　▲79百万円　-%）
- 当期損失　163百万円（前年同期比　▲117百万円　-%）

財務状況は健全な状態を維持

- 現金及び現金同等物　670百万円 (24年9月期末ベース)
- 流動比率　583%
- 自己資本比率　83.1%

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

2025年3月期中間期振り返り

重点分野の進捗

- **マテリアル事業：国内・中国での受注減により大幅減収減益**
  - ✓国内事業：中国・韓国向け輸出の減少と国内受注の減少により減収減益
  - ✓新たな欧州向け海外売上獲得に向けた商品企画が進捗⇒展示会出展（1月度）
  - ✓上海事業は大口取引先受注減により減収減益
- **ファッション事業：PB・OEM品の受注が堅調に推移したが先行投資コストもあり増収減益**
  - ✓ミセス部門：卸部門は新規得意先の獲得とPB・OEM品が好調に推移し増収増益
    SHOP部門は売場拡大と新規PB商品投入の積極施策に伴う投資コスト増で増収減益
  - ✓ジュニア部門・ホームファッション部門：酷暑・残暑の影響に加え為替の影響を受け粗利減となり減収減益
- **きもの事業：百貨店外商連動と単独売場化は成果、小物NC売上減少と投資コスト増により減収減益**
  - ✓百貨店外商連動による催事件数増加
  - ✓百貨店単独売場化　4-9月2件　販売コストの先行投資により減益
  - ✓浴衣とYOUTOWAの共同POPUP出店等、新たな顧客づくりに注力。
- **経営体制の変更により大幅な改革の推進**
  - ✓：RIZAPグループ企業への商品提案の推進
  - ✓：ブランド事業の再構築
  - ✓：DX推進などによる徹底したコスト削減チームの立上げ

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

AGENDA

1. 2025年3月期中間期総括

・2025年3月期サマリー
・2025年3月期中間期振り返り

2. 2025年3月期中間期決算概要

3. 成長戦略

©2024 MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

損益計算書

（単位：百万円）

	2024年9月期	2023年9月期	前年同期比増減
売上高	1,530	1,907	80.2%
売上総利益	503	541	▲38
販管費計	690	649	+41
営業利益	▲186	▲107	▲79
経常利益	▲158	▲79	▲79
当期純利益	▲163	▲46	▲117

- 前年６月ギフト事業売却の影響とマテリアル事業の国内外受注大幅減少により売上減
- エネルギー資源の高騰・為替変動による仕入原価負担増により売上総利益悪化
- きもの百貨店売場単独化、ファッションSHOP事業での売場拡大及び新規PB商品の先行投資により販売経費の増加
- 前年ギフト事業分割による株式売却益　39百万円

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

セグメント業績

（単位：百万円）

	売上高				営業利益		
	2024年9月期	2023年9月期	増減額	前年同期比％	2024年9月期	2023年9月期	増減額
連結	1,530	1,907	▲374	80.2	▲186	▲107	▲79
きもの（和装）	318	361	▲43	88.1	▲38	▲16	▲22
ライフスタイル（寝装）	21	98	▲77	21.6	▲3	3	▲6
ファッション（洋装）	704	733	▲29	96.1	▲27	1	▲28
マテリアル（意匠撚糸）	480	712	▲232	67.5	▲19	21	▲40
本社・調整	7	2	+5	350.0	▲99	▲117	+18

- きもの事業はNC売上不振により減収、関西・九州百貨店単独売場化への先行投資で経費増で減収減益
- ライフスタイル事業はギフト事業の売却もあり減収減益
- ファッション事業は百貨店の売場拡大と新規PB商品への投資先行で減収減益
- マテリアル事業は上海事業の大口取引先大幅受注減と国内事業の輸出取引減少により減収減益

決算概要：貸借対照表

	2024年9月期	2024年3月期	前期末比増減額
流動資産	3,302	3,585	▲283
固定資産	216	217	▲0
資産合計	3,519	3,803	▲284
流動負債	566	709	▲143
固定負債	26	31	▲4
純資産	2,926	3,062	▲136
負債純資産合計	3,519	3,803	▲284

- 流動資産：現金及び預金250百万円が増加
- 売掛金・電子記録債権158百万円減少（前期末休日要因）
- 商品及び製品122百万円増加
- 短期貸付金　500百万円減少
- 負債：電子記録債務107百万円減少（前期末休日要因）
  自己資本比率　83%

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

AGENDA

1. 2025年3月期中間期総括

・2025年3月期サマリー
・2025年3月期中間期振り返り

2. 2025年3月期中間期決算概要

3. 成長戦略

©2024 MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

収益向上重点事業

マテリアル事業

- 海外売上拡大

❖欧米アパレル向け商材の企画開発を推進

✓イタリア・フィレンツェで1月開催予定の展示会へ出展申請中

✓DX（yarnbank）への登録⇒世界中のデザイナーが糸情報入手可能になり受注増加効果を期待

❖上海事業における営業体制を強化。

✓総経理へローカル人材を登用
中国アパレル向けのシェア拡大に向け更なる営業体制強化

- ビジネス領域拡大

✓RIZAPグループ企業への商品提案の強化

✓撚糸の企画開発を推進するとともにニット製品の企画開発にも注力し、製品での提案も強化

✓衣服以外の分野に向けた撚糸の企画開発を推進

©2024 MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

収益向上重点事業

ファッション卸事業

- PBの企画開発を推進

❖ミセス部門：2Q累計は増収増益

✓新規獲得10件

✓2Q累計のPB売上高前年同期比15％

- 百貨店出店・売上拡大

❖４～９月までの店舗純増数は6店舗となった

✓既存店売上高は前年同期比　95.6％

✓新規店売上高は　30.9百万円

❖百貨店店向けPB【森と泉】の展開

✓PB品拡販に注力するとともにファション雑貨の品揃えを強化

✓営業体制を更に強化し、シェア率を向上

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

事業モデル改革

きもの事業

❖百貨店の強化

✓百貨店における外商コミュニケーションを強化　⇒　外商顧客の要望対応増加

✓単独売場化　2件（4～9月実績）
競合他社の離脱に際し、単独売場として運営強化　10～3月2件　拡大予定

✓新規取引百貨店との交渉の推進

❖専門店における新たな催事として、顧客起点での非呉服品調達・WEBライブ販売を実施し、売上貢献

❖浴衣とYOUTOWAの共同POP-UP STOREを出店。

✓POP-UP出店　8件　インバウンド・新規顧客獲得に貢献

❖RIZAPグループ企業のリソース活用　⇒　きもの・宝飾品などのリユース品販売展開

©2024　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.

堀田丸正株式会社
Marusho hotta co.,Ltd.

免　責　事　項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください 。

©2023　MARUSHOHOTTA CO.,LTD.